

■中根雪江 福井藩士。藩主松平慶永を助け、幕末の困難な時期に、すぐれた周旋力を発揮したが、〈維新〉で退場。

なかねゆきえ

ツツ船狼藉・1807＝ 福井藩士中根衆譜の長男に生まれる。

伊能測量終・1816＝ 9歳：

水野忠成老中1818＝11歳：

異国船打払令1825＝18歳：

富籤流行・・1830＝23歳：家督を継ぎ、

高島砲術・・1834＝27歳：

・・・・・1836＝29歳：_福井を来訪した国学者橋尚平の説に感服し、

大塩平八郎乱1837＝30歳：

適塾ホヱン・1838＝31歳：_江戸に出て、平田篤胤に入門、

諸役を経るうち、

順天堂始・・1843＝36歳：

阿部正弘首座1845＝38歳：

孝明天皇・・1846＝39歳：_藩主松平慶永(春岳)に抜擢されて側用人となり、財政復興を柱とする藩政改革を強力に推進。

万次郎帰国・1852＝45歳：

ペリー来航・1853＝46歳：*慶永を擁して中央政界での活動を開始し、

開国開港・・1854＝47歳：_藩命で、藤田東湖を訪ねて外交意見を聴取、

蕃書調所・・1857＝50歳：_翌年にかけて、みずから抜擢に力を尽くした橋本左内とともに、一橋派の慶永を補佐し、將軍継嗣・条約勅許問題の解決に奔走。

安政の大獄・1859＝52歳：平田篤胤の門人として国学に造詣深く、安政の大獄中は、翌年にかけて、「昨夢紀事」を執筆。

桜田門外変・1860＝53歳：

遣欧使節・・1861＝54歳：

生麦事件・・1862＝55歳：「再夢紀事」。*慶永の政事総裁職就任で活動を再開、横井小楠と協力して慶永の幕政改革を助け、幕府や諸藩の有志中に多くの知友を得、信望をあつめ、

8月18日政変 1863＝56歳：_以降、慶永の意を体して京・大坂を往来し、公武合体の促進と公議會制実現に努力。一時蟄居になったりするも、幕閣の依頼で幕府と薩長間を調整するなど、各時期の政局収拾にすぐれた周旋力を発揮。

大政奉還・・1867＝60歳：「丁卯日記」。_王政復古直後、参与に任ぜられ、慶永と徳川宗家救済のため尽力したが、新政府は正活動が嫌疑を受け、

明治維新・・1868＝61歳：「戊辰日記」。*福井に退隠。

初の日刊新聞1870＝63歳：

以後、著述に専念し、

明治6年政変 1873＝66歳：

西南戦争・・1877＝70歳：「奉答紀事」と、維新史の根本史料として貴重な著作を遺して、東京滞在中に、_病没した。